

## 航空機器事業の新工場棟完成

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：寺本 克弘）は、航空機器を生産する岐阜工場（岐阜県不破郡垂井町）敷地内に2016年に建設した「精密部品棟」、「表面処理棟」に続き、この度「アクチュエーター棟」が完成し、10月23日に竣工式を執り行いましたのでお知らせします。

当社は岐阜工場において機体の飛行制御システム『フライト・コントロール・アクチュエーション・システム』を中心に航空機向けの各種装備品を生産しています。完成した「アクチュエーター棟」は、先に完成した「精密部品棟」、「表面処理棟」を含め、フライト・コントロール・アクチュエーターの材料調達から完成までの一貫生産体制を構築し、高自動化生産ラインとIoT活用により品質・生産性の向上を図ることで、「ボーイング737MAX/777X」並びに「MRJ（Mitsubishi Regional Jet）」等の民間機を中心とした需要拡大に対応します。加えて、先進環境技術の採用によるCO2排出量の大幅削減も実現いたします。

当社は、お客さま、お取引先とともに、地域の皆さまのご支援を頂きながら、航空産業の成長に寄与できるよう努力してまいりました。今後も、国内外を飛び交う航空機のフライト・コントロール・アクチュエーション・システムのリーディングカンパニーの一社として積極的にイノベーションに取り組んでまいります。



岐阜工場全景



アクチュエーター棟（延床面積 8,263 m<sup>2</sup>）

以上